

(6) アスファルト合材

新潟県

記事提供：新潟県アスファルト合材協会

令和7年度第4四半期(1～3月)の県内アスファルト合材製造出荷数量は130,000トンとなり、前年同期を6,000トン(4.8%)上回った。地区別では、上越8,000トン(対前年同期比20.0%減)、中越20,000トン(同5.3%増)、下越99,000トン(同12.5%増)、佐渡3,000トン(同57.1%減)であった。下越地区が引き続き県全体を牽引し、中越地区は持ち直しの動きを見せた一方、上越・佐渡地区は低調で、地域間で需要動向に差が見られる。

年間累計では、県全体で973,000トンとなり、前年度を92,000トン(10.5%)上回った。地区別では、上越147,000トン(対前年比20.5%増)、中越294,000トン(同13.5%増)、下越518,000トン(同9.8%増)、佐渡14,000トン(同50.0%減)であった。佐渡地区は年間を通じて大きく落ち込み、工場維持水準を下回っており、事業継続や供給体制の維持に懸念がある。地域の安定的なインフラ整備と産業基盤維持のためには、地域実情に応じた継続的な需要確保が求められる。

原材料費・物流費・人件費高騰、脱炭素対応の設備投資負担など、経営環境は依然として厳しい。公共事業等に安定的に対応していくためには、適正な工事発注の継続、地域の実情に応じた発注の平準化、および資材・物流コスト上昇を反映した適切な価格形成が不可欠である。

富山県

記事提供：富山県アスファルト合材協会

富山県における令和7年度1月～3月期の出荷状況は、県計では6万9千tで前年同期と比べ10%の減となった。地区別でみると東部地区が3万6千tで16%の減、西部地区が3万2千tで2%の減となった。

富山県全体出荷では43万9千tで前年比1%増となった。東部地区においては前年比6%減、西部地区前年比9%増で復興工事による修繕工事が要因とみられる。

今後の状況においては中東情勢の影響によりアスファルトや重油が不足しているため逼迫が予想されて、発注者の動きにも影響の恐れがある。

石川県

記事提供：石川県アスファルト合材協会

石川県における令和7年度1月～3月期の出荷状況は、前年同期に比べ加賀地区で前年比29.1%増、能登地区で前年比25.7%増、石川県全体では前年比27.8%増と昨年同時期に比べ加賀地区、能登地区共に増、石川県全体としても出荷量は増加した。

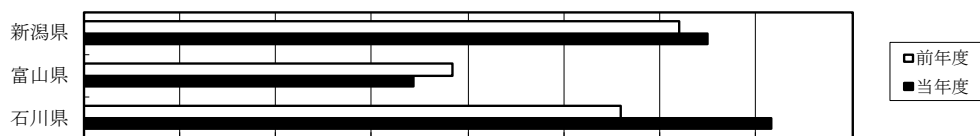
年間合計では加賀地区が25.8%増、能登地区が12.5%増、石川県全体としては20.7%増となり、今年度は昨年度に比べ10万トン以上上回る70万トンを超える出荷量となった。

この要因は昨年度同様、今年度も能登半島地震により破損、損壊となった道路の復旧工事が昼夜問わず行われているためである。

主要材料であるアスファルト価格は、相変わらずの不透明感があり、原油価格、為替相場共に不安要素が多く余談を許さない状況。

また今年度のアスファルト関連の物件について、昨年同様、能登地区は道路の復旧工事が中心となり供給増加が予想されるが能登地区の各プラントの稼働率が最大に達しており、一部のプラントでは出荷制限せざるをえない状況。加賀地区については能登地区の復旧工事次第という面もあり不透明な状況である。

アスファルト合材出荷量の推移(1月～3月期)



(単位：千t、%)

県	地区	令和6年度 年計	令和7年度				
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	上越	▲10 122	39 43	51 53	▲7 43	▲20 8	20 147
	中越	▲6 259	30 82	18 97	0 95	5 20	14 294
	下越	▲14 472	0 104	17 141	9 174	13 99	10 518
	佐渡	22 28	▲40 3	▲43 4	▲56 4	▲57 3	▲50 14
	県計	▲10 881	14 232	20 295	2 316	5 130	10 973
富山県	東部	8 247	6 64	▲23 55	6 76	▲16 36	▲6 232
	西部	8 189	7 59	21 55	9 61	▲2 32	9 207
	県計	4 437	7 123	▲6 110	8 137	▲10 69	1 439
石川県	加賀	0 371	30 112	51 133	4 132	29 89	26 467
	能登	0 233	7 56	18 71	5 82	26 54	12 262
	県計	0 604	21 168	38 204	4 213	28 143	21 728

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会員32社のうち32社

富山県

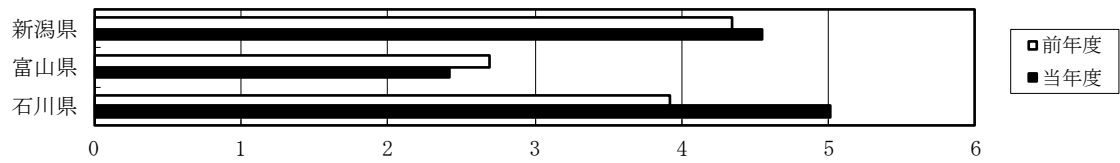
会員14社のうち14社

石川県

会員18社のうち12工場分

◎参考資料

アスファルト出荷量の推移（1～3 月期）



(単位：千t、%)

県	地 区	令和 6 年度 年 計	令和 7 年度				
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	上 越	▲10 4.3	39 1.5	51 1.9	▲7 1.5	▲20 0.3	20 5.1
	中 越	▲6 9.1	30 2.9	18 3.4	0 3.3	5 0.7	14 10.3
	下 越	▲14 16.5	0 3.6	17 4.9	9 6.1	13 3.5	10 18.1
	佐 渡	22 1.0	▲40 0.1	▲43 0.1	▲56 0.1	▲57 0.1	▲50 0.5
	県 計	▲10 30.8	14 8.1	20 10.3	2 11.1	5 4.6	10 34.1
富山県	東 部	8 8.7	6 2.3	▲23 1.9	6 2.7	▲16 1.3	▲6 8.1
	西 部	8 6.6	7 2.1	21 1.9	9 2.2	▲2 1.1	9 7.3
	県 計	4 15.3	7 4.3	▲6 3.8	8 4.8	▲10 2.4	1 15.4
石川県	加 賀	0 13.0	30 3.9	51 4.7	4 4.6	29 3.1	26 16.3
	能 登	0 8.1	7 2.0	18 2.5	5 2.9	26 1.9	12 9.2
	県 計	0 21.1	21 5.9	38 7.1	4 7.5	28 5.0	21 25.5

(注)・上段は前年同期との比較

※特殊アスファルト合材等が含まれる全ての合材に対しての量

「アスファルト出荷量（千 t）＝アスファルト合材量（千 t）×3.5%」